

なき事にて侍るを、ましてみちの人ならぬ、天文などのおそれある事にや、よろづめでたく侍し  
に、おしくも侍るかな、

〔平治物語一〕信頼信西不快事

少納言入道信西ト云者アリ、山井三位永頼卿八代後胤、越後守季綱孫鳥羽院御宇進士藏人實兼  
ガ子也、儒胤ヲウケテ儒業雖不傳、諸道兼學シテ諸事ニクラカラズ、九流百家ニ至ル、當世無雙ノ  
宏才博覽也、

〔古事談一〕

王道后宮鳥羽法皇登山御幸之時、前唐院寶物御覽之時、諸人不知事有三ヶ事、古老僧徒猶

不分明云々、而少納言入道乍三事申之、一ニハ杖之サキニ圓ナル物ノ綿フク／＼ト入タルヲ付  
タル物有、人不知云云、通憲申云、是ハ禪法杖ト申也、修禪定之時、僧ノ所痛アレバ、是ニテ腹胸ナド  
ヲツカヘテ居物也、二ニハ、鞠ノ様ニ圓ナル物ノチヒサキガ、投レバ聲有モノナリ、又人不知之、通  
憲申云、是禪毬ト申物也、同修禪之時、眠ナドスルニ、頂ニ置テネフリ傾ク時ハ落バ鳴也、ソレニオ  
ドロカン料ノ物也、今一ハ木ノ十文字ニ差タル物、人不知之、通憲申云、是ハ助老ト申物也、老僧ナ  
ドノヨリカ、ル物也、大略脇足體ノ物候云々、諸人莫不感歎云々、

〔續古事談二〕

臣節故少納言入道○信人ニアヒテ、敦親ハユ、シキハカセカナ、物ヲ問ヘバ不知々々

ト云ト被云ケリ、其問タル人、不知ト云ムハ、何ノイミジカランゾト云ケレバ、身ニ才智アルモノ  
ハ、不知ト云事ヲ不耻也、實才ナキモノ、ヨロツノ事ヲシリガホニスル也、都テ學問ヲシテハ、皆  
ノ事ヲシリアキラムル事ト、人ノシレルハ僻事也、大少事ヲワキマフルマデスルヲ、學問ノキハ  
メトハ云ナリ、ソレヲ知ヌレバ、難義ヲ被問テ、不知ト云ヲ耻トセス也、トゾ云レケル、  
〔續世繼五飾大刀〕ふけの入道○藤原忠實 おとゞの御子、○中左のおとゞ○頼長は、御みめもよくおはし、御  
身のざえもひろき人になんきこえ給し、堀河の大納言○師に、前書とかきこゆるふみうけつた